

八尾市産業振興会議 第1回本体会議

2026/7/27 15:00～



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City

次 第

1. 開 会
2. 委嘱状交付式・市長 挨拶
3. 委員紹介・事務局紹介
4. 座長選任・副座長の指名について
5. 議 事(15:25～16:55)
 - チェックイン（20分）
 - (1)八尾市産業振興会議について（5分）
 - (2)これまでの振り返り(10分)
 - (3)ワーク①「10年前の“未来予想”を振り返る」（30分）
 - (4)国、大阪府の産業振興の方向性(10分)
 - ・国の産業振興の方向性について
 - ・大阪府の産業振興の方向性について
 - (5)ワーク②「これからの未来に、興味を持ってみる」(10分)
6. 魅力創造部長 挨拶（5分）
7. 閉 会

配布資料

・令和8・9年度 八尾市産業振興会議 委員名簿



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City



(1)八尾市産業振興会議について



八尾市中小企業地域経済振興基本条例



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City



前文 | 相互理解と信頼のもと市民、事業者、及び市（行政）が一体となって推進

八尾のまちが住みやすいまち、住み続けるまちであるためには、中小企業が発展し、そこで働く人々が生きがいと働きがいを得ることができるようにすることが大事です。そのためには、市民、事業者、市（行政）がお互いの立場・役割を理解し、信頼することが必要です。

第4条 | 基本的施策

市が講じる中小企業振興のための基本的な支援について定めています。

情報発信、技術開発、人材育成、連携促進、新事業展開、まちづくり促進 etc...

第5条 | 市の責務

支援を行うために必要な費用の確保に努めるなど、中小企業支援を行うにあたって市が果たすべき役割を定めています。

国などとの連携、施策の実施、財政上の措置

第6、8条 | 中小企業者、大企業者の努力

中小企業と大企業は、地域社会の発展に欠くことができない重要な役割を担っています。ここでは、中小企業が事業活動を進めるにあたって努力すべき内容のほか、中小企業と大企業それぞれが、地域貢献を行ったり環境との調和を図るよう、定めています。

第7条 | 市民の理解と協力

中小企業の振興は市内産業の発展につながり、雇用や税収を生み出すことを通じて、市民生活の安定や市民サービスの充実など市民の暮らしやすさにつながっていきます。こういった中小企業振興の大事さについて、市民が理解し、協力を努めることの必要性について定めています。

第9条 | 意見の反映 産業振興会議

中小企業支援の進め方についての意見を聴くために、「八尾市産業振興会議」を設けています。産業振興会議は、市内の商工業者や市民、学識経験者などで構成されており、市民や事業者の声、社会や経済の全体的な動きなどを踏まえながら、施策の充実や条例理念の実現を図ります。

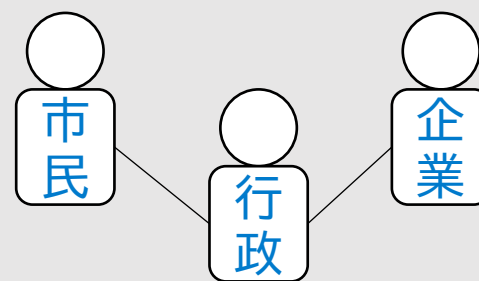


基本条例とはなにか？

目的

信頼

協働



健全で調和のとれた
地域社会の発展(SDGs)

立場、役割を相互理解

地域企業の発展
働く人に生きがいと働きがい





第9条 | 意見の反映 産業振興会議

中小企業支援の進め方についての意見を聴くために、「八尾市産業振興会議」を設けています。産業振興会議は、市内の商工業者や市民、学識経験者などで構成されており、市民や事業者の声、社会や経済の全体的な動きなどを踏まえながら、施策の充実や条例理念の実現を図ります。

■ 設立目的

市民や商工業者との双方向のコミュニケーションを通じて、市域産業の状況やニーズを把握し、市民や商工業者のコンセンサスを得ながら、より有効な施策を展開していくための「施策提言の場」として、平成10年に設立。

■ 検討事項

- ① 産業施策の推進
- ② 産業の発展・向上に関すること
- ③ その他産業振興に必要と認められること

第9条

八尾市の産業振興について

八尾市第6次総合計画「八尾新時代しあわせ成長プラン」

○将来における八尾市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、総合的・計画的にまちづくりを進めるために策定。

【将来都市像】 つながり、かがやき、しあわせつづく、
成長都市 八尾

【6つのまちづくりの目標】

2.もしもの時への
備えがあるまち

1.未来への育ちを誰もが
実感できるまち

4.日常の暮らしが快適で
環境にやさしいまち

3.世界に魅力が広がるまち

6.みんなの力でともにつくる
持続可能なまち

5.つながりを創り育て自分らしさを
大切にしようまち

【政策3】世界に魅力が広がるまち

【政策5】つながりを創り育て自分らしさを大切にしようまち

【施策9 地域経済を支える産業の振興】

{めざす暮らしの姿}

①地域内のつながりによる新たな取り組みへのチャレンジ意欲とその取り組みを応援する機運醸成により、イノベーションエコシステム※が構築され、八尾の好循環につながっています。

②操業環境等の整備と企業集積の維持が図られ、活発な産業活動により、職住近在のまちづくりが進んでいます。

③先輩企業家が次世代の企業家の成長を支えることで人が集まり、にぎわいが持続するまちとなっています。

④個性豊かな商店やオープンファクトリーが増え、地域内外から八尾の応援者や、関係人口※の増加とともに、八尾の産業が全国から注目されています。

八尾市中小企業地域経済振興基本条例

○本市の中小企業振興における基本的な理念を規定

○市が講ずべき基本的施策を規定(第4条)

産業集積、連携促進、人材育成、新事業展開、情報発信、まちづくり促進など

○産業振興会議の設置を規定(第9条)



リンク

理念を実現するための
施策等を検討

八尾市産業振興会議

○条例の理念および総合計画の目標の実現に向けて、
本市の産業振興施策について検討。

○学識経験者、市内事業者、団体、市民代表、行政機関等
それぞれの立場から活発な議論を実施。

意見

八尾市は
産業振興会議からの意見を踏まえ
施策を検討・実施

令和

8・9年度の産業振興会議について

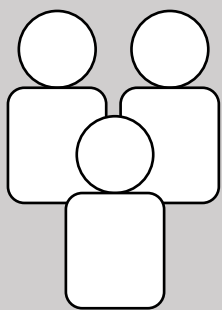
テーマ『10年後の八尾市の産業について』



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City

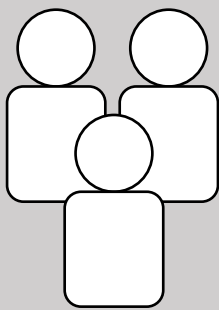
八尾市産業振興会議

本体会議



付託
報告に対する意見
審議結果承認

検討部会



報告
審議結果報告

議論の総括
及び
報告書の作成

産業政策課

産業振興会議からの
意見を踏まえ、
産業振興施策を展開する。

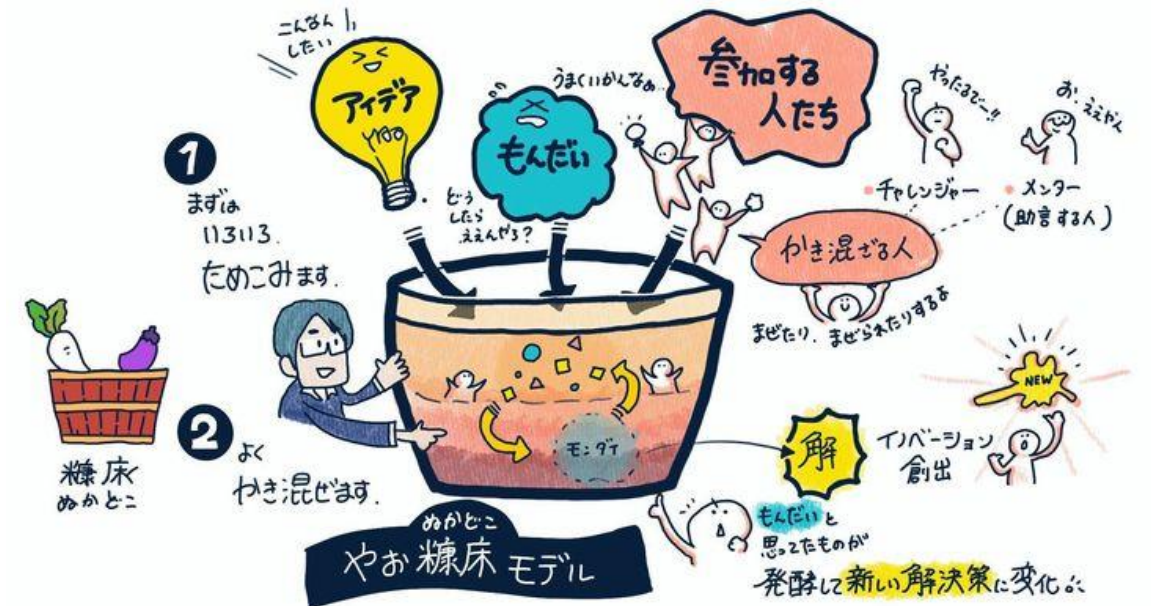
令和8・9年度においては、
「10年後の八尾市の産業について」をテーマに、令和
11年度から始まる第7次総
合計画の策定に向けて検討
を行う。

市長への提言(令和9年度)

令和8・9年度においては、**「10年後の八尾市の産業について」**をテーマに、八尾市にさらなる好循環をもたらすための
施策提言を行う。

令和8・9年度の産業振興会議検討スケジュール(予定)

	令和 8 年度			令和 9 年度	
	本 体 会 議 15時-17時	検 討 部 会 18時半-20時半		本 体 会 議	検 討 部 会
4月			4月		第1回部会(4月中旬) 検討テーマに基づく意見議論
5月			5月		第2回部会(5月中旬) 検討テーマに基づく意見議論
6月			6月		
7月	第1回本体会議 7月27日(月) 課題の共通認識・抽出		7月	第1回本体会議(7月上旬) 提言書(報告書)の方向性確認	
8月			8月		第3回部会(8月上旬) 検討テーマに基づく意見整理
9月	第2回本体会議 9月28日(月) 解決すべき課題の発見 部会検討テーマの選定		9月		第4回部会(9月上旬) 報告書の策定に向けて
10月		第1回検討部会 10月26日(月) 検討テーマに基づく意見抽出	10月		
11月		第2回検討部会 11月30日(月) 検討テーマ(解決すべき課題とは)に基づ く意見整理	11月	第2回本体会議(11月中下旬) 提言書(報告書)案	
12月			12月		
1月		第3回検討部会 1月18日(月) 検討テーマ(解決すべき課題とは)に基づ く意見整理	1月	市長への提言(報告)(1月下旬)	
2月	第3回本体会議 2月15日(月) 検討部会からの報告 今後の検討部会に向けて		2月	第3回本体会議(3月中旬) 令和7年度事業報告 次期産業振興に向けて	
3月			3月		

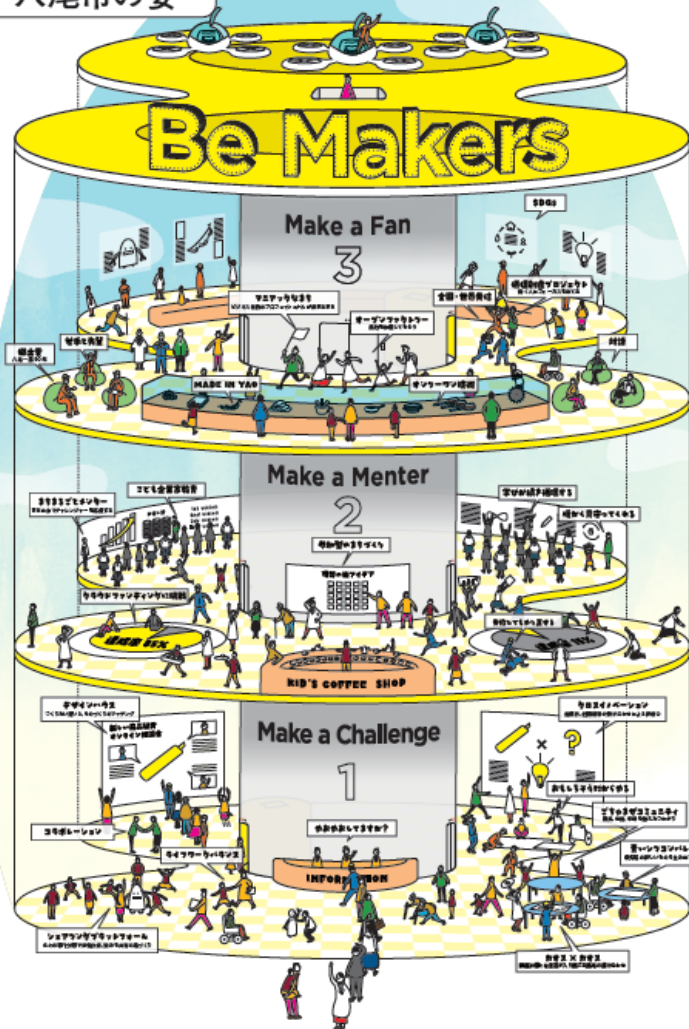


(2)これまでの振り返り



知ってからええと嬉しいです！

10年後の 八尾市の姿



本紙制作の背景

みなさんは10年後、どのような八尾の未来を想像しますか。私たち八尾市産業振興会議委員一同は2018-2019年の2年間で八尾の未来「10年後の八尾の産業」について考えてきました。私たちなりに議論を重ね、「創る人になる」という言葉を中心とした3階建ての建物イメージになりました。こどもから大人まであらゆる人に自分のまちの未来を想像してほしい。そして、私たち一人ひとりがまちの主人公として、一緒にまちを創る人「Makers」になりませんか。

Be Makersを支える3つのキーワード



Make a Challenge

あなたでは何か、あなたには何が出来るのかを考えてみよう。このまちで出会い、気づき、強みをかけあわせることで今まで想像しなかった新しいものが生まれ、なんでもあるのが八尾。なんでもあるからこそ多様性が生まれるのが八尾。



Make a Mentor

学校では学べない経済感覚やコミュニケーション力、社会を生きていくための知恵をこのまちが教えてくれる。そして、あなたがチャレンジしたい時に最高のプロや、ここに合わせとたちが助けてくれる。八尾にいれば、あなたは世界へはばたく機会にもなる。



Make a Fan

私たちは誰、人となりが、社会に支えられていて、地域とつながることで、どんな地域が好きになる。あなたが好きなこのまちを世界へ発信すると、気づけばこのまちのファンが生まれている。

本紙で伝えたいこと



まずは知ろう！

どんなまちを私たちが想像したか、見てみましょう。まちには多様な人が暮らし、人の数だけ個性が溢れています。両者が調い、また下巻のQRコードにアクセス。



行動しよう！

一人でできること、10人、100人で一緒にできること、違いはあれど、みんなのチャレンジが新しい未来を切り開いていきます。レッツチャレンジ！！



八尾の未来を創ろう！

行動すればたくさんの仲間が生まれるはず。その仲間とともに大きな夢を語ってまちづくりに参加しよう！その一歩が必ず明日の未来を、そして八尾を創っていく。

私たちがBe Makersに込めた思い



八尾市産業振興会議委員

誰かがやってくれる、そんな思いではまちは変わらない。一人一人が「ジブンゴト」としてまちづくりに参画してほしい。一人一人がこのまちの変化の起点になり、熱い想いを語って大きなムーブメントを創る人となっていきたい。そんな想いを「Be Makers~創る人になるう！」という言葉に込めています。



八尾市経済環境部産業政策課
TEL: 072-924-3845
FAX: 072-924-0180
Email: sangyou@city.yao.osaka.jp



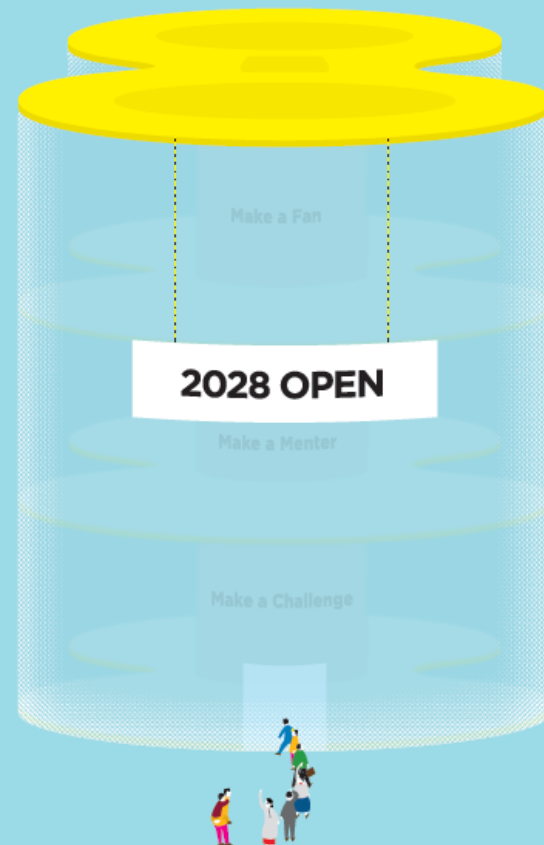
私たちと共に八尾市を作りたい方は、
QRコード先にアクセス！



発行 令和2年3月(195年暦号 01-026)

Be Makers

誰もがこのまちの主人公。八尾の未来を創る人になるう！



『どのような指標があると達成が見える化できるのか』

次に、定量的、定性的な指標の両側面から、思い描いた10年後のまちのイメージがどれだけ達成しているかを見える化する方法はどういった観点で測られるべきかを考察した。

特に定性的な指標づくりは一般的には難しいと捉えられているが、付箋紙にたくさんの思いをつづっていただき、様々な視点から議論ができた。

ポイントとしては、まち全体の人々、団体の「つながり」の実感の測定や、そこに住んでいる個人のやる気やモチベーションの保持などに関するコメントが多いことから、新たなコトやコラボの数などに焦点が当てられ、常に挑戦している人々が集まり、「ワクワク感があふれるまち」をどう見える化できるかといった議論があった。

また最後に、事務局から資料提供された「関係人口」についての議論の際には、参加型のまちづくりを進めることへの重要性について改めて認識することができた。委員を見渡してみると、過去に何らかの関係で八尾を訪れたことがある方や、そもそも関わりがなかったが、会議の運営で声をかけられ、自然と毎回参加するグラフィッカーなど、この会議その自体が関係人口の人々の関わり、そしてつながりにより成り立っていることがわかったからだ。今後、あらゆる取組やプロジェクトを通じて、関係人口をどう増やしていくか、それが年々増えることに

成果の見える化の指標（案）

Make a Challenge!

- ・事業者満足度：前年に比べ「つながり」が増えた・深まった（％）
- ・新事業開発支援企業数（社）

Make a Mentor!

- ・八尾の産業振興によって産まれた創業者数（人）

Make a Fan!

- ・八尾の産業振興に関わる関係人口数（人）

○基本目標5 経済成長を推進する、未来志向の産業振興をめざすまち

	指標・KPI	単位	基準年度	基準値	参考値	実績
					R2年度	R
基本目標 指標	立地制度活用による工場立地件数	件	R1	9	6	
	産業分野にかかわる関係人口の対基準年度比率	％	R1	100.0	15.0	
施策 KPI	相談者の雇用達成の割合					
	中小企業におけるイノベーション実践数	事業	f			
	八尾市立中小企業サポートセンター相談件数	件	f			
	次世代企業家育成において市内企業がメンター役を担う割合	％				

Makers! で溢れるまちに!

2020-2021年度産業振興会議提言書 概要

今期のテーマは、「ニューノーマルの時代における価値創造について」であります。今、求められる価値の創造には、単に経済や産業の側面に限られるものではなく、自然環境や地域、文化、といった側面が大きく関わっております。

今期の提言は、前回の『Be Makers 創人になろう!』を承けたものであり、まちがMakersであふれると、市民一人ひとりが想い描く「ありたい将来の生活」に近づくものと結論づけました。今回、「やお糠床モデル」というあまり例をみない考え方を提唱するのも、八尾にかかわる人々が、いきいきと活動し、それぞれの生活を織りなす中で、産業振興を実践していくためです。

価値創造のためのレシピ



【やお糠床モデルとは・・・】

糠をはじめとして、さまざまな要素からなる「床」があり、そこに、いろんな野菜（問題やアイデアや参加者）が付け込まれ、発酵を経ておいしくなります。参加者は、八尾に関わる人たちであります。すぐに解決できない問題や、不要だと思われていたアイデアは一旦煮詰め込み、発酵されるのを待ちます。かき混ぜり発酵が進み、「新しい発想=解」が生まれると、また新しい問題やアイデアが生まれ、それを再び糠床に入れたと、同じ循環を繰り返します。「やお糠床モデル」には、「新しい発想=解」を生み出し続ける仕組みとして、期待されております。

【かき混ぜる】

「かき混ぜる」は、辞書に記載はなく、我々、産業振興会議で定義した言葉になります。ある時は、自分自身も糠床モデルでかき混ぜられ、ある時は、糠床モデルの中で人と人のかき混ぜる。自分たちの経験値を惜しみなく共有するメンバーであり、常にmakeするチャレンジャーでもあります。他者に教え、また、自分たちも教えられる主客一体な存在であります。

この産業振興会議、自体がやお糠床モデル

産業振興会議のメンバーは、行政、社員、大学の先生、グラフィッカー、市民など八尾市に関わる人たちであります。2年間、「ニューノーマルの時代における価値創造について」という問いに対して、産業振興会議に「やお糠床モデル」をインストールし、多様な意見や考え方をもとに議論してきました。そして、「ありたい未来の姿をシナリオにする」というアイデアを活かして、3つの情景という解を導き出しました。



【提言】

①コミュニティ参加への支援

人と人のつながりにより地域の産業振興は考えられている。コミュニティ参加におけるメリットを「見える化」する。

②働くことの楽しさを伝えるためのコンテンツ制作

地域で、八尾全体で、事業者とともに、子どもたちに働くことの意義、楽しさを伝える。

③挑戦する人を育てるための情報発信

「挑戦することがカッコいい。」こんな風土が八尾にはあるということをもっとひとりが発信発信する。



八尾市産業政策課

Department of Industrial Policy, Yaonaka City

電話: 072-924-3845

FAX: 072-924-0180

Email: sangyou@city.yao.osaka.jp

提言書の詳細はこちら➡



発行 令和2年2月 (発行所番号 R3-181)

やお糠床モデルのチャレンジ

令和4・5年度産業振興会議提言書 概要

今期のテーマは、「八尾の未来を共創する～糠床モデルのチャレンジ～」である。地域課題を解決するための「解」を創出するため、どうすれば「発酵」するのかを実証実験し、効果検証した。

「発酵」のメカニズムは、旧来型の直線的な成長モデルではなく、地域に暮らし、働く人々や、地域で活動する企業や組織、諸団体、行政などが、それぞれの得手を活かして、それぞれを補い合い、支え合いながら、良質な化学反応を促し、結果としてイノベティブなアクターが活発に動き、価値創造が実現されるというものであり、これらを具体化していくための「発酵」のメソッドを探ることが、今期の産業振興会議において引き継がれたテーマである。

今期の産業振興会議において、基本的なスタンスとして「コミュニティ参加への醸成」「働くことの楽しさを伝えるためのコンテンツ制作と仕掛けづくり」「挑戦する人を育てる」という3つが浮かび上がった。これは、前々期の産業振興会議の提言書で打ち出された「Be Makers!」というコンセプトを具体化するものであり、前期の産業振興会議で提唱された「やお糠床モデル」において具現化する方針となるものである。

これらの方針を具現化するため、産業振興会議での議論を経て、「子どもたちの創造性を育む」「コミュニティの取り組み」の2つをテーマとして、実証実験を行った。実証実験では、テーマに関連する事例を挙げ、これまでにすでに開始されていたものも含め、幅広い世代への取り組みをもとに検証した。また、実証実験を得て、学校向け出張講座が制度的に実施することが可能になった。

今期の提言は、こういった実証実験の成果や産業振興会議での議論などをうけて行っているものである。

【提言】

①様々な課題のくみ上げ

八尾市に存在する多種多様な提案や課題（「やお糠床モデル」にのっての“種”）を汲み上げるための仕組みや方法の整備をする必要がある。

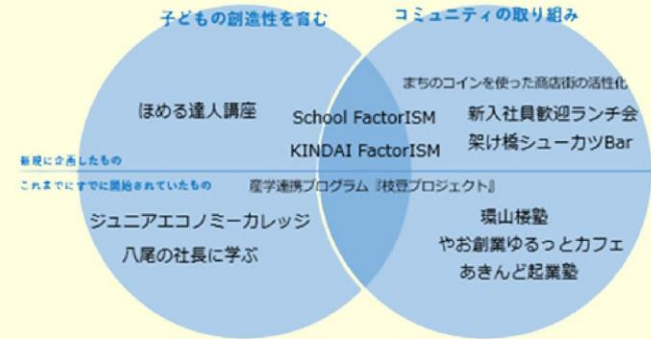
②従業員同士の交流

中小企業における人材不足解消の方策のひとつとして、社会的交流の試みを民間が実施しているが、地域エコシステムの充実という点から行政からの支援もなされることが望ましい。

③学校との連携

子どもたちへの取り組みをすすめるため、地域の経営者などの協力への行政からの支援や産業振興政策と教育政策との横連携を定期的の実施することが必要である。

実証実験の事例分類



『未来を創る！こども創造性教育～出張講座～』の実施

「子どもたちの創造性を育む」取り組みとして、市内小・中・義務教育学校向け「出張講座」の制度設計、コンテンツ作成を行い、令和6年度から制度的に実施することが可能になった。この取り組みは、子どもたち・経営者・学校現場をつなげる取り組みとして、産業振興会議の「糠床」でカテゴリーの違うメンバーがアクターとなり「かき混ぜる」「かき混ぜる」ことで「解」（結果）として導き出したものである。

〔出張講座の仕組み〕



八尾市産業政策課

Department of Industrial Policy, Yao City

電話: 072-924-3845

FAX: 072-924-0180

Email: sangyou@city.yao.osaka.jp

提言書の詳細はこちら➡



提言書別冊

こども創造性育成プロジェクト



未来を創る！こども創造性教育～出張講座～

はじめに

―産業振興会議について―

八尾市は全国でも有数の中小企業が集まる産業のまちとして発展してきました。まちにはオンリーワンの技術力を持つ企業や地域のにぎわいを支える事業者が多く存在しています。「八尾市中小企業地域経済振興基本条例」の理念である、中小企業振興により、中小企業が発展し、雇用が生まれ、まちがにぎわい、行政サービスが向上する好循環の実現のため、企業、行政、学識経験者、市民、金融機関等があつまり八尾市産業振興会議で議論を重ねております。

―Be Makers 創る人になろう！―

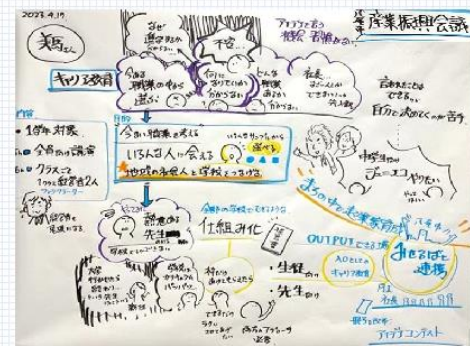
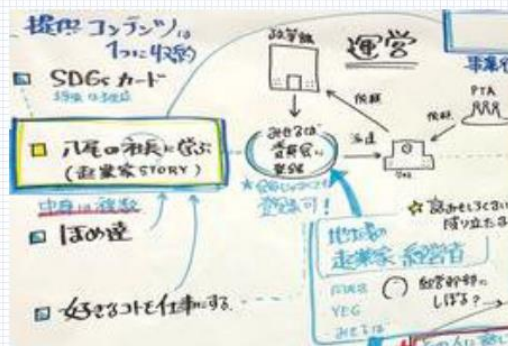
産業振興会議では「10年後の八尾の産業」をテーマに議論し、「Be Makers 創る人になろう！」というスローガンを設けました。その後、「Make a Mentor! (人「財」育成)」の実証実験を重ね、そこから、地域の経営者と地域の子どもたちがつながりを持ち、子どもの頃から起業家教育を受け、子どもの夢やチャレンジを、地域の経営者が(応援)投資する未来が見えてきました。先輩経営者が後輩を育てる「学びの好循環」が絶えず生まれることが、イノベーションのエコシステムです。その後輩には、地域の子どもたちも含まれています。



―こども創造性教育について―

「将来何になりたいかわからない。」「社長ってすごい人しかねないのかな?」「失敗することがこわい。」「といった、子どもの想いや「就職してもすぐ離職してしまう。」「将来を見て地元の子どものためのキャリア教育に貢献したい。」「といった経営者の想いをつなぐことで、「学びの好循環」が生まれます。

経営者等による講座を行い、子どもたちに働くことの意義、楽しさを伝えるとともに、「挑戦することがかっこいい」「将来を想像していくのは楽しい」風土を八尾市に醸成していきたいと考えています。

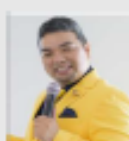


講師プロフィール

	氏名	今岡 和雄
	所属/業種	有限会社ジャックスクリーン 代表取締役 / 看板屋
	プロフィール	1995年、28歳で一念発起し創業。誰かに決められたものではなく自分で考えたものを作りたいと思い、この仕事を始めました。子供の時から育ったこの八尾の地から日本全国に自分たちが考えた看板を掲げています。「共に-作る-未来」を経営理念と定め、八尾から未来の街づくりを発信する看板屋として、そして想像力豊かな未来のクリエイターを育てるためにサイン・ステール職師としても活動しています。

	氏名	橘本 比沙
	所属/業種	株式会社事務助 代表取締役 / 創業コンサルティング、各種事務・秘書代行 他
	プロフィール	2015年に株式会社事務助を設立し、女性の働きやすい環境づくりを目指しています。起業の過程で、私自身、不安や疑問を経験し多くの学びを得ました。現在、創業サポートに注力しており、「失敗するチャレンジ」を大切に思っています。これから挑戦していく皆さんの将来をサポートします。お会いできることを楽しみにしています。

	氏名	佐藤 由豊
	所属/業種	株式会社GLOBAL FLAT 代表取締役 / 介護事業、訪問看護事業、飲食事業 他
	プロフィール	2011年株式会社GLOBAL FLAT 設立。福祉や飲食の事業を展開しています。これらは源流地域社会への配慮と地域活性化、そしてコミュニティ作りを目指しています。SDGsの実践を通じて、地域に欠かせない企業を目指すとともに、SDGsカードゲームの普及活動の取り組みを通じて、環境への自主的・積極的な貢献を続けてまいります。

	氏名	奥島 功之介
	所属/業種	株式会社MNA 代表取締役社長 / 賃貸・不動産
	プロフィール	1968年八尾生まれ。学生時代から世界を放浪、各国の住まいの文化に関心をもちハウスメーカーに就職。その後、株式会社MNAを設立。住める達人協会特別認定講師」としても活躍。ビジネスと「住め運」を合わせた社会人向けの講座および中学校・高校への出前授業も行っています。

	氏名	山田 敏也
	所属/業種	株式会社ビーダッシュ 代表取締役社長 / ネットショップ運営・運営、ホームページ構築・制作 他
	プロフィール	1973年生まれ。2003年株式会社ビーダッシュ設立。八尾市立中小企業サポートセンター第2号事業企業。八尾市産業振興会議委員(2016年〜)、株式会社みせるばやお役員、グラフィックポート8080プロデューサーなど創業から「八尾」に関わり続けています。地域密着でデジタル人材の創出に挑戦中。

講師プロフィールは随時更新しますので、
申し込みの際は、市HPよりご確認ください。

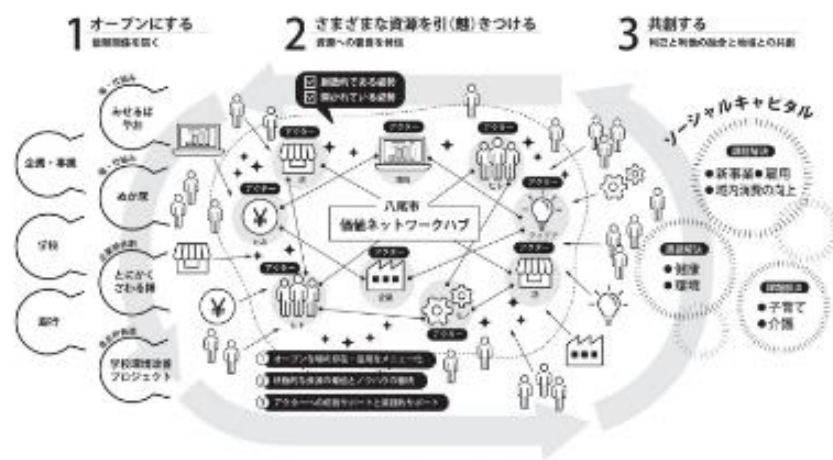


令和6・7年度 八尾市産業振興会議 提言書 概要

今期は、「大阪・関西万博後における八尾市の産業の好循環」をテーマに、万博を契機とした持続的な産業のあり方について、議論と実証を重ねてきました。

「やお機床モデル」を基盤に、多様な主体の「はたらき」をつなぎ、価値創造・共創へと発展させる方策を検討してきました。その結果を踏まえ、本提言では、万博のソフト・レガシーである「オープンであること」に着目し、「オープンにする」「資源を引（魅）きつける」「共創する」の三つを柱として、整理しております。

万博のソフトレガシーを活かした価値創造/共創



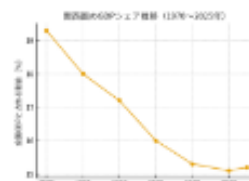
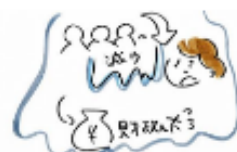
ものづくり・産業・教育・文化を軸的に結びつけ、地域の人材と資源が自律的に活用される持続的なエコシステムの構築

【提言】

- 1 「オープンにする」ための支援
企業・学校・市民などが安心して関われるオープンな場を確保・可視化し、目的に応じて適するメニューとして提供することで、新たな参加や挑戦を促す。
- 2 「さまざまな資源を引（魅）きつける」ための施策と支援
人材・技術・活動などの地域資源を積極的に発信するとともに、取組や知見をノウハウとして蓄積・共有し、次の連携や活用につなげる。
- 3 「共創する」ための施策と支援
多様なアクターの相談に応じながら、必要な人材や資源につなぐ伴走型のサポートを行うことで、具体的な実証や共創を後押しし、地域課題の解決と価値創造につなげる。

-提言の背景-

【現状分析と将来動向】



八尾市の人口は、平成2年度をピークに減少を続け、2050年には20万までになる見込み。少子高齢化による、財政運営はますます厳しい。
前回の大阪万博後は、関西圏のGDPの占める割合は減少傾向。

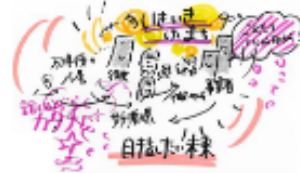


企業の成長や成長意欲は、ネットワーク、つながりから育まれる。

2025大阪・関西万博のソフトレガシーを八尾市の産業にどうつなげるか。



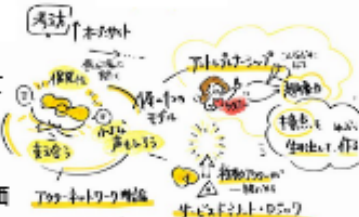
【めざしたい未来】
「いきいきしたまち」にしたい！



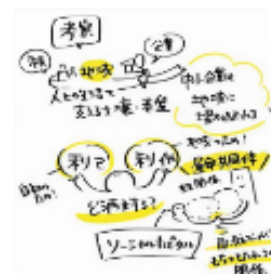
【着目する2つの理論】

① 連鎖的なネットワークの結果として実践が生まれる。

② 受け手の課題・期待と提供者の価値提案が結びつく。価値創造/共創。サービスの交換の連鎖。



【3つの実証実験】



【考察】
つながりを育むことは、地域産業、さらには地域経済全体の持続可能性を支える営みとなる。
地域のアクターとしての果たす役割は、地域課題解決に寄与する。
市全体としての付加価値の創出と分配の好循環

八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City
電話: 072-924-3845
FAX: 072-924-0180
Email: sangyou@city.yao.osaka.jp

提言書の詳細はこちら→



産業振興会議設置（平成１０年度）以降の主な産業振興施策等

■企業情報データベース化事業（八尾ものづくりネット）（１１年度～）

■八尾市中小企業地域経済振興基本条例制定（１３年度～）

■八尾市中小企業サポートセンター設置（１４年度～）

■八尾ものづくり受注商談会開催（１４年度～２１年度）

■ビジネスマッチング博開催（１４年度～）

■商業ネットワーク化支援事業（八尾あきんどOn-Doネット）（１４年度～）

■“ものづくりのまち・八尾”ブランド化推進事業（１６年度～）

■アントレプレナーシップ教育事業（１６年度～１８年度）

■地域再生計画「ものづくりのまち・八尾 担い手育成計画」（１６年度～１８年度）

■異業種交流グループ等の研究・開発への助成制度の創設（１６年度～２６年度）

■八尾市中小企業サポートセンター機能拡充・移設（１８年度）

■八尾市ものづくり集積促進奨励金制度（１９年度～）

■八尾市中小企業地域経済振興功績者顕彰制度の創設（１９年度～）

■産業政策アドバイザーの設置（２０年度～）

■ものづくり人材育成事業（２０年度～）

■地域商業活性化アドバイザーの設置（２１年度～）

■提案公募型八尾市商業まちづくり推進事業の創設（２１年度～２７年度）

■八尾市中小企業地域経済振興基本条例改正（２３年度～）

■「八尾産業情報ポータル」のサイト運用開始（２４年度～）

■大阪シティ信用金庫との産業連携（２５年度～）

■ものづくりカレッジの開始（２５年度～）

■事業承継セミナーの開始（２５年度～）

■市内事業所人材確保支援（労働支援課、八尾市無料職業紹介所）の開始（２５年度～）

■八尾あきんど起業塾の開始（２６年度～）

■環山楼塾の開始（２６年度～）

■八尾市中小企業ブランド戦略推進事業「STADI」（２７年度～）

■八尾市製造業現場改善支援事業（２７年度～２８年度）

■医療機器・介護機器分野参入促進事業（２７年度～）

■女性の職業生活における活躍推進事業（２７年度～）

■ものづくり人材育成支援事業（２９年度～）

■八尾市IoTを活用したハードウェアイノベーション推進拠点デザイン事業（２９年度～）

■八尾市総合基本計画への提言（令和元年度～）

■ギガスクール動画の制作（令和３年度～）

■未来を創る！こども創造性教育 出張講座・現場見学（open site）（令和６年度～）

(3)ワーク① 10年前の”未来予想”を振り返る

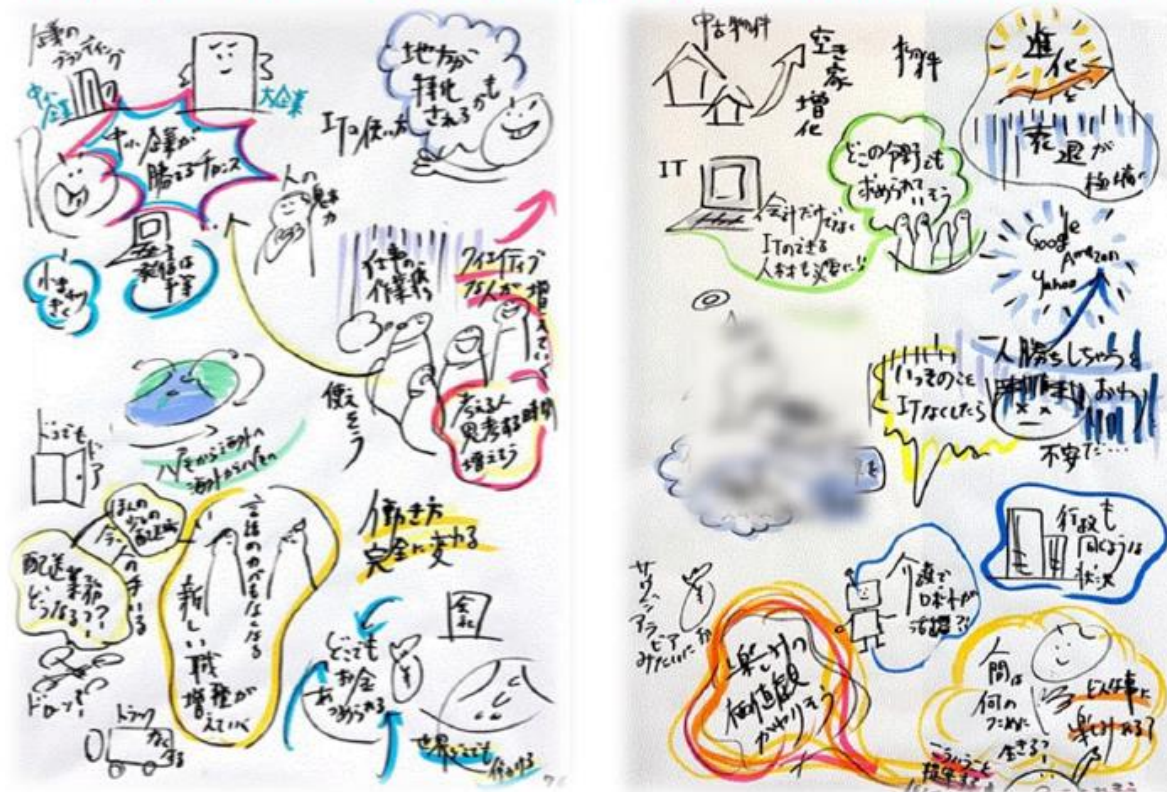


当時、
描いた未来の答え合わせ

2028年の大阪府の産業に関連するほぼ確実な世界



2028年の大阪府の産業に関連するほぼ確実な世界



Be Makers!

～創る人になろう!～

▼ヒ ト

○高齢化で高齢者が高齢者を看ることになる。

○高齢者が働き続ける仕組みを構築する必要がある。

○どの分野においてもITが求められるため、ITのできる人材が重宝される。

○配送業務もドローン等の新サービスにより、人手不足が解消される。

○大学生の平均年齢が40歳になり、教育が個別化していく。中小企業が変わっていくための教育が発展。

▼カ ネ

○どこにいても資金調達できるようになり、世界中のどこでも働けるようになる。

○今はなんとか持ち堪えているが、今後も大型スーパーが増え、個店が少なくなる。

機材投資も必要になるが、利益が出せないため厳しい。

▼ツール（IT、IoT、ロボット化）

- ITツールが多種多様になり、使いこなせなくなる。
- スウェーデンのようにICチップが国民の手に埋め込まれるようになる可能性がある。
- 書類作りがすべてIT化され、人手がいらなくなる。コンサルタント業が発展する。
- 介護業界ではロボットが活躍する。ロボットの存在もより身近になる。
- IT化により作業時間が短縮され、思考する時間が増え、クリエイティブな人が増えていく。

▼環境変化

- 人口減少により、空き家が増加し、中古物件が増える。
- 気候変動により仕入れができなくなる。
- 国境がなくなり、海外の友達の存在があたりまえになる。
- 八尾から海外へ、海外から八尾へのハードルが低くなる。言語の壁もなくなり、新しい職種も増えていく。働き方が完全に変化していく。
- 企業ブランディングに関して小回りがきく中小企業が大企業に勝つチャンスになる。

▼ヒ ト

○高齢化で高齢者が高齢者を看ることになる。

○高齢者が働き続ける仕組みを構築する必要がある。

○どの分野においてもITが求められるため、ITのできる人材が重宝される。

○配送業務もドローン等の新サービスにより、人手不足が解消される。

○大学生の平均年齢が40歳になり、教育が個別化していく。中小企業が変わっていくための教育が発展。

ヒト

人口減少は進行しているが、2016年時点の想定（ビジョン）よりは緩やかなペースを維持。

2025年の答え合わせ

2016年想定 250,000人
2025年実績 258,285人

+8,285人
(想定比 3.3%上振れ)

想定人口（参考補間）と実績人口



ヒト ○高齢者が働き続ける仕組みを構築する必要がある。

Executive Consulting Dashboard

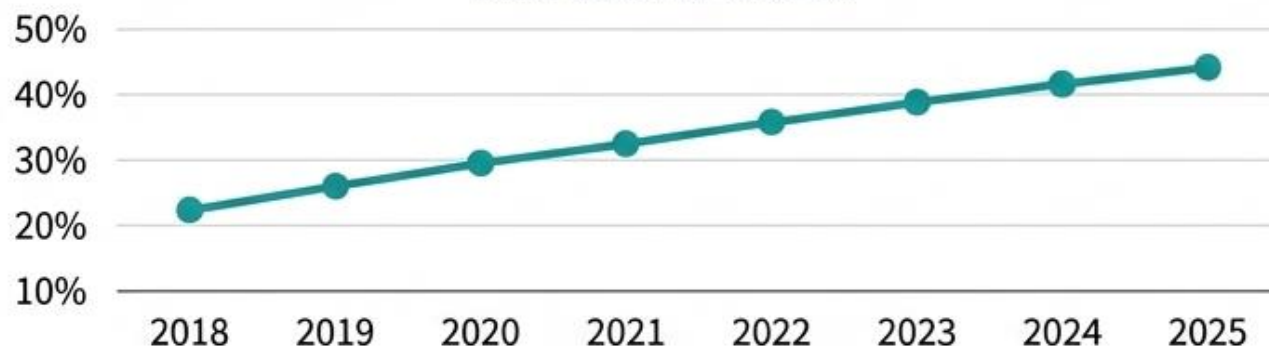
布施管内での高齢者就職「割合」は上昇しているが、就職「実数」は横ばい。
全体パイの縮小が要因。

H30(2018) vs R7(2025)

高齢者割合
28.4% → 44.0%
(+15.6pt)

高齢者就職件数
2,437件 → 2,396件
(ほぼ横ばい)

高齢者割合の推移



高齢者就職件数と全体パイ



ヒト ○どの分野においてもITが求められるため、ITのできる人材が重宝される。

**2024年のIT技術者数（約127.2万人）は、
2016年予測の「低位シナリオ」とほぼ同水準で着地。**

予測 vs 現在地

2030年低位シナリオ予測

126.7万人

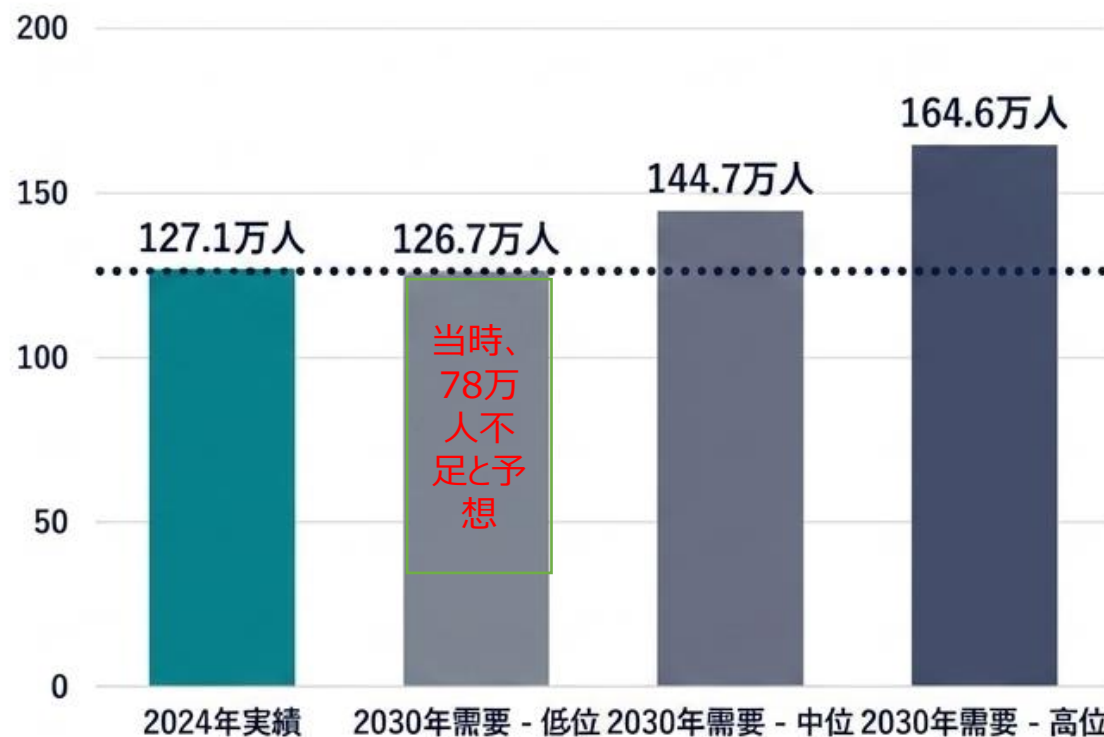
VS

2024年実績

127.1万人

中位・高位予測からは大幅な未達
（約17.5万～37.4万人の開き）

2024年実績と2030年需要予測



ヒト

○大学生の平均年齢が40歳になり、教育が個別化していく。中小企業が変わっていくための教育が発展。

大人の大学・大学院での学び直しは、2021-2022年に一時増加したものの、直近は横ばい傾向。

2019年度 vs 2024年度

社会人入学者数
15.9千人 ➡ 17.1千人

▼△7.5%

(ただし2022年の18.8千人から下落)

大学と大学院の社会人入学者数 推移
(2019年-2024年)



▼カ ネ

○どこにいても資金調達できるようになり、世界中のどこでも働けるようになる。

○今はなんとか持ち堪えているが、今後も大型スーパーが増え、個店が少なくなる。

機材投資も必要になるが、利益が出せないため厳しい。

カネ〇どこにいても資金調達できるようになり、世界中のどこでも働けるようになる。

国内スタートアップ資金調達の全体像と株式投資型CFの推移（2018～2025年）

全体調達額と株式投資型CFは、2018年比で共に約47%の成長を記録。2021～2022年をピークに調整局面へ入る共通のトレンドを示す一方、全体規模に対するCFの割合は依然として限定的（約0.2%）である。

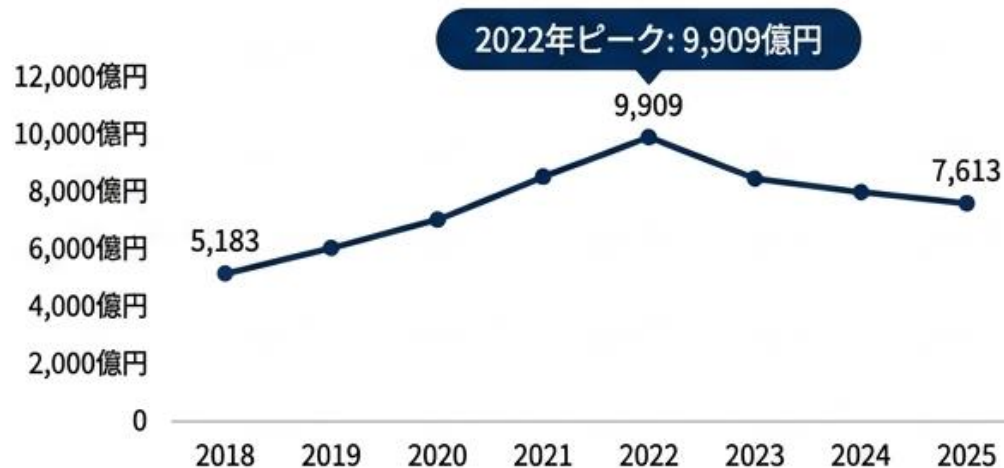
国内スタートアップ資金調達総額

2018年比 **+46.9%**

5,183億円 → 7,613億円

驚くべき
共通の
成長軌道

- ・ 2022年をピーク（9,909億円）に調整局面へ。



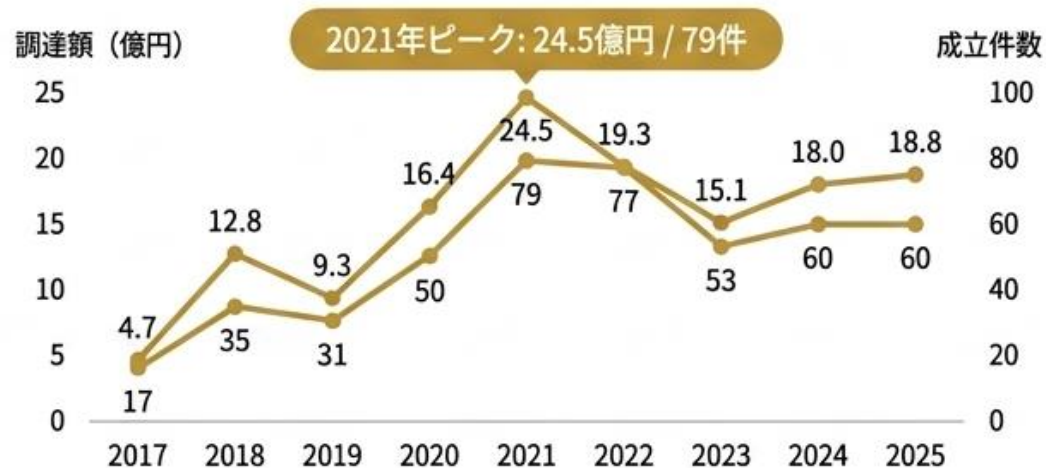
株式投資型クラウドファンディング

調達額 2018年比 **+47.0%**

12.8億円 → 18.8億円

成立件数 **+71.4%** (35件 → 60件)

- ・ 制度上限は緩和されたが、全体規模としては未だ発展途上。2021年がピーク。



カネ ○今はなんとか持ち堪えているが、今後も大型スーパーが増え、個店が少なくなる。

Executive Command Center

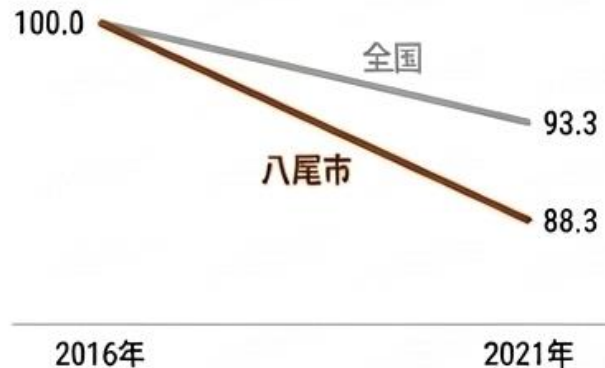
八尾市経済のパラダイムシフト：既存小売の縮小から、草の根の創業エコシステムへ

従来型小売インフラが全国平均を超えるペースで後退する一方、特定創業支援による新規ビジネス創出が着実に成長を牽引。

既存小売基盤の急速な縮小

事業所数 **-11.7%**減少

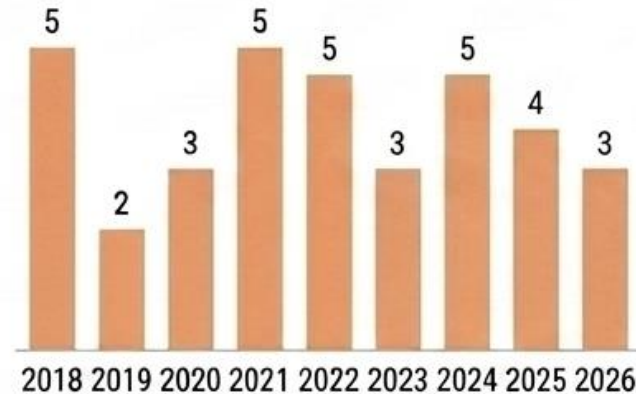
2016年から2021年の5年間で、八尾市の小売業事業所数は1,398から1,234へ減少。全国平均（-6.7%）を5pt下回るハイペースで縮小が進行。



大中規模店舗開発の安定化

届け出は年間1～5件程度で継続

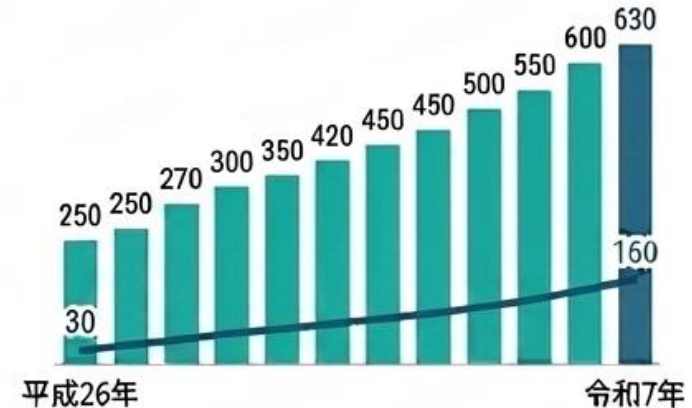
2018年から2026年の累計届出数は23件。2018年、2021年、2022年にそれぞれ5件の届出があったものの、全体として大中規模店舗による新規開発は限定的。



新規創業エコシステムの躍進

創業実現 **163**件を達成

小売業が縮小する一方、八尾市の特定創業支援による新規創業は計画目標を達成。H26～R7累計で605件の支援を実施し、堅調な右肩上がりの成長トレンドを形成。



▼環境変化

- 人口減少により、空き家が増加し、中古物件が増える。
- 気候変動により仕入れができなくなる。
- 国境がなくなり、海外の友達の存在があたりまえになる。
- 八尾から海外へ、海外から八尾へのハードルが低くなる。言語の壁もなくなり、新しい職種も増えていく。働き方が完全に変化していく。
- 企業ブランディングに関して小回りがきく中小企業が大企業に勝つチャンスになる。

○八尾から海外へ、海外から八尾へのハードルが低くなる。言語の壁もなくなり、新しい職種も増えていく。働き方が完全に変化していく。

八尾市内の主な就労系在留資格者は急増し、7年間で約3.2倍に拡大。

2018年比の激変

2018年 → 620人
2025年 → 1,998人

約3.2倍
(+222.3%)

主な就労系在留資格者数の推移



環境変化

○八尾から海外へ、海外から八尾へのハードルが低くなる。言語の壁もなくなり、新しい職種も増えていく。働き方が完全に変化していく。

大阪を訪れる外国人旅行者数はコロナ禍を越え、
2019年水準を約47.5%上回る過去最高を記録。

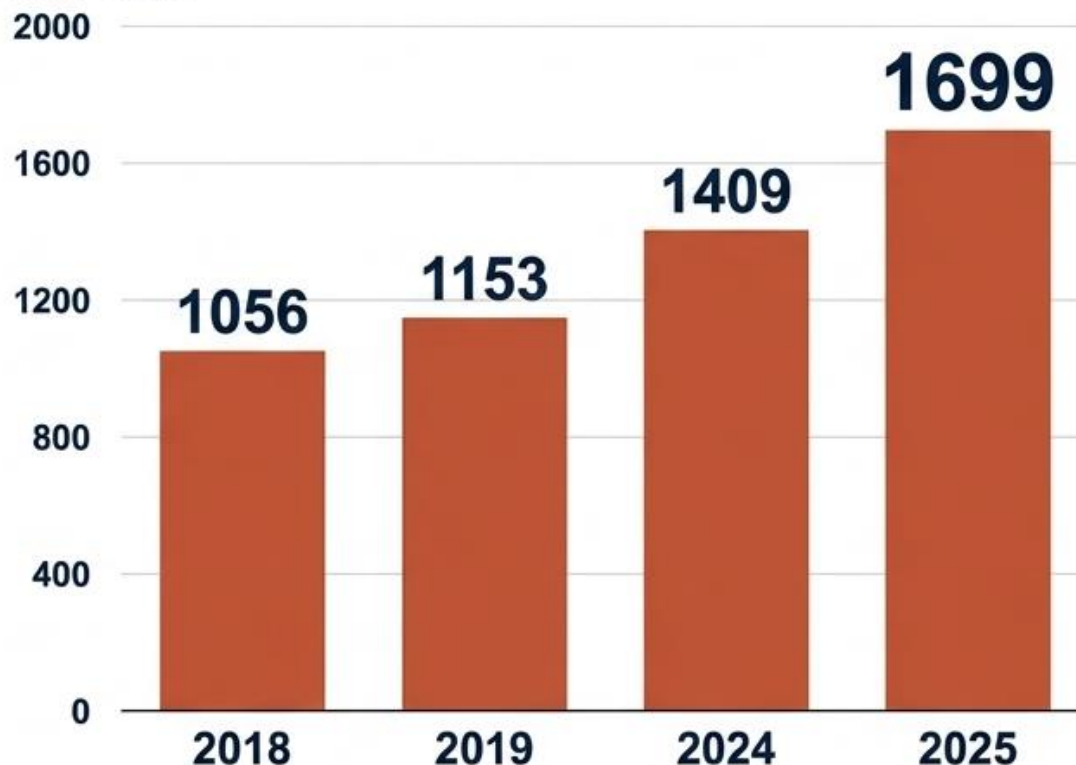
2018年 vs 2025年

2018年来阪旅行者 2025年訪問者数
1,056万人 → 1,699万人

+60.8%

(コロナ前2019年比でも+47.5%)

人数 (万人)



○人口減少により、空き家が増加し、中古物件が増える。

八尾市内の空き家増加率（+49.6%）は、全国平均（+10.6%）を大きく上回るスピードで進行。

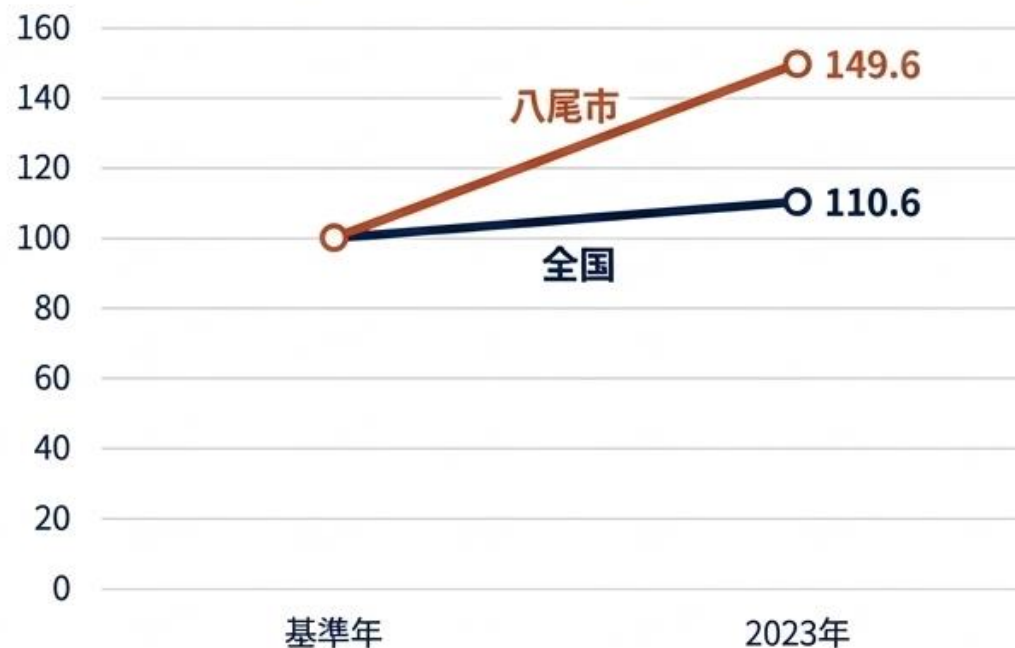
基準年 vs 2023年

八尾市(2017→2023): 1,937件 → 2,897件

(+49.6%)

全国(2018→2023): +10.6%

空き家増加率の比較（基準年=100）



未来は、予測どおりには進まない。

人口減少のように、予想より緩やかに進んだ変化。
高齢者就業や外国人の増加、空き家のように、着実に進んだ変化。
学び直しのように、想定とは異なる形で進んだ変化。
それぞれの変化は、異なる速さと形で、同時に起きています。

次の10年は、どんな未来なのか。

(4) 国、大阪府の産業振興の方向性



国の産業振興の方向性について 近畿経済産業局



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City

大阪府の産業振興の方向性について



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City

(5)ワーク② これからの未来に、興味を持ってみる



資料関連

令和3年以前の産業振興会議→

https://warp.ndl.go.jp/web/20230209112530/https://www.city.yao.osaka.jp/soshiki/37-1-0-0-0_13.html



令和4年から8年の産業振興会議→

https://www.city.yao.osaka.jp/shisei/iinnkai_shingikai_kansa/1014685/1008886/index.html



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City